

ハマウツボ

Orobanche coerulescens Steph. ex Willd.

ハマウツボ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

生育地に限られ、個体数も少ない。(現況:R-)

形態

茎は黄褐色で太く、まばらに白毛があり、直立して高さ10～25cmになり、鱗片状に退化した葉がつく。茎の上部に紫色で、長さ約2cmほどの花が穂状に多数つく。

国内分布

北海道、本州、四国、九州、沖縄。

県内分布

外浦区、内浦区、加賀中央区、南加賀区。

生態など

1年草、カワラヨモギに寄生。

生育環境

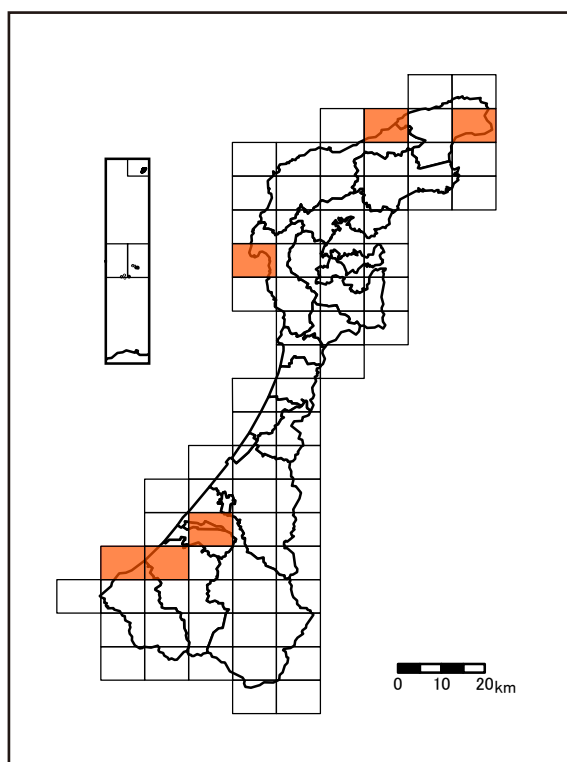
海岸や河原。

危険要因

海岸開発、土地造成、踏みつけ、自然遷移、産地局限、海岸侵食。



本多郁夫・2005年5月28日・外浦



県内の分布